

地方独立行政法人長野市民病院 令和元年度業務実績評価に関するご意見等一覧

※一部要約、加筆・修正

※第1回評価委員会（8月27日開催）における意見も含む。

第1-1 市民病院が担うべき医療（6～23ページ）

- (1) 救急医療、(2) がん診療、(3) 脳・心臓・血管診療、(4) 手術・集中治療、(5) 高齢者等に配慮した医療、(6) 急性期後の患者に対する医療、(7) その他の政策的医療、(8) 予防医療、(9) 災害時対応

ご意見等

(1) 救急医療

- ・救急車を断らずに受け入れる、救急隊員の資質向上は地域住民として安心感があります。（北村委員）
- ・救急車搬送受入件数の2019年目標値4,430は、前年実績値より下げたのは何故ですか？（北村委員）
- ・24時間365日の救急対応は感謝しています。急病センターでは、開業医の先生方は、専門外の対応に時間がかかり、翌日の診療になってしまうのが不安です。救急医療の質の向上に期待します。

（柳原委員）

(2) がん診療

- ・診療実績が前年度に比して多少落ちている項目があるものの、診療レベル・内容、遺伝カウンセリングの体制整備、緩和ケア提供体制の充実、がん相談センターの充実などは、県内トップレベルの水準にあり、高く評価できる。（小口委員）
- ・2年連続で厚労省のモデル事業に選定されたことや、医師・看護師の研鑽・育成により各種高度な資格取得も大変素晴らしい風土と感じます。（北村委員）
- ・がん診療では、「がん寺子屋勉強会」の取組は大賛成です。ロボット支援手術の実績も素晴らしい。

（柳原委員）

(3) 脳・心臓・血管診療

- ・P15イの結果欄で「106.1%と順調に増加」は、誤解を招く恐れがあるのではないですか。（北村委員）
- ・糖尿病治療では、開業医では血液検査の結果が出るまでに数日かかることがある。糖尿病は、開業医との連携が大切ですので、今後の取組に期待します。（柳原委員）

(4) 手術・集中治療

- ・手術部門の体制強化、集中治療部門の機能を充実させ、全麻件数が前年比104.9%となり、おそらく入院診療単価上昇の要因の一つになったと思われ、素晴らしい。（小口委員）
- ・全身麻酔時の説明は、患者や家族が怖がらずに安心して聞くことができるような説明方法を考えてほしい。（柳原委員）

(8) 予防医療

- ・人間ドックを評価します。働きながら時間のとれない世代への対応など今後期待します。（柳原委員）

員)

(9) 災害時対応

- ・ 昨年の台風 19 号災害への取組に感謝しています。いざどこかに避難するとなった時に認知症患者は動くことができなかつた現状があります。災害後の対応に加え、患者に対する「いざ」を事前に医師が伝える必要を感じました。(柳原委員)

◎全般

- ・ 評価：5に近い4 地域医療支援病院として、ハイレベルの高度急性期・一般急性期の医療を実施・推進する一方で急性期後の患者さんを対象とする地域包括ケア病棟を有し、在宅医療・介護への復帰支援を積極的に行い、地域の包括ケアシステムの構築にも大きく貢献している。さらには、予防医学の体制も強化されてきた。これらのことは、市民病院として、市民・地域のニーズにしっかりと応えて大いに評価できる。(小口委員)
- ・ 病院完結の視座に加えて、「地域医療構想調整会議の議論を踏まえた、当院の役割の明確化」の記載が求められるかと思います。(坂口委員)
- ・ 県レベルでは、長野構想区域の「2025 年度 必要推計病床数」も、公開されていますので、関係づけた検討・記載がされるとよいのではないのでしょうか。(坂口委員)
- ・ 法人自己評価と同様、4 と評価いたします。「救急医療」、「がん診療」、「脳・心臓・血管診療」の3本柱を中心に、市民に高度な医療を提供されたと共に、「在宅医療」や「予防医療」、「診療支援」など、市民が求める医療についても充実を図られました。また、台風 19 号災害に対して適切に対応されましたことを高く評価いたします。(中山委員長)

第1-2 患者サービスの向上 (24~29 ページ)

(1) 患者中心の医療、(2) 快適性及び利便性の向上、(3) ボランティアの受入れ、(4) 情報提供の推進

ご意見等

(2) 快適性及び利便性の向上

- ・ 接遇の向上や待ち時間対策に努力されていることが理解できます。今後もより一層の努力をお願いします。(北村委員)
- ・ 患者が安心して診療を受けるためにも、苦情処理の取組は必要ですが、患者の言い分が正しいか否かの判断も大事かと思います。(柳原委員)

(3) ボランティアの受入れ

- ・ ボランティアは、どのような活動をされているのでしょうか。(北村委員)
- ・ コロナ禍において、ボランティアの受入れは大変かと察しますが、開院以来の取組ですので、他の見本になるようがんばってください。(柳原委員)

◎全般

- ・評価：4 患者満足度では前年比で、入院はやや低下、外来は上昇するも、いずれも目標値に達せず、さらなる努力が望まれる。(小口委員)
- ・法人自己評価と同様、4 と評価いたします。「説明と同意」の徹底やセカンド・オピニオンの支援など、患者中心の医療を実践されたと同時に、クリニカルパスの活用を通じて医療の標準化とチーム医療の質の向上を図られた点を高く評価いたします。(中山委員長)

第1-3 医療に関する調査及び研究 (30 ページ)

ご意見等

- ・法人自己評価と同様、4 と評価いたします。長野市民病院医学雑誌については、現在インターネット上で目次のみ閲覧可能となっています。個人情報等について十分配慮された上で、オープンアクセス化された方が長野市民病院の活動を市民や医療関係者に広く知ってもらえる良い機会になるのではないかと思います。(中山委員長)

第1-4 医療提供体制の充実 (31～43 ページ)

- (1) 地域包括ケアシステム推進体制の充実、(2) 他の中核病院等との連携強化、(3) 医療機器の計画的な更新・整備、(4) 病院運営に関する地域の意見の反映、(5) 医療職の人材確保及び育成、(6) 教育研修
- (7) 医療安全対策、(8) コンプライアンス（法令遵守）の徹底

ご意見等

(1) 地域包括ケアシステム推進体制の充実

- ・逆紹介率が低下しているが、これは、病院の自助努力で増加することができ、一層の努力が望まれる。(小口委員)
- ・訪問看護訪問件数 5,713 (前年度 6,273、目標 6,160) の減少は大きく、減少の要因は何なのか、分析を行い改善に努めていただきたい。(小口委員)
- ・訪問看護件数が「過去2年間に急増した反動で」減少したとありますが、院内の体制に問題があるのか、外部環境に原因があるのか、明らかにさせるべき。(坂口委員)
- ・地域完結型医療に、地域連携クリニカルパスを運用されていると思いますので、実績に加筆されるとよいと思います。(坂口委員)
- ・「二人主治医制」は、患者にとってうれしいことですが、時間の使い方を考える必要があります。
(柳原委員)

(2) 他の中核病院等との連携強化

- ・「長野医療情勢等連絡会」をはじめ近隣病院との連携等のリーダー役としての活動と適切な競合と協調により、医療水準の維持・向上により住民は安心感が湧いてきます。是非これを含めて広く市民にPRすべきと考えます。他にもたくさんPRすべき事業があると感じました。(北村委員)

(5) 医療職の人材確保及び育成

- ・人材育成は、最も大事な柱です。人柄の良い人を育ててほしいと祈ります。専門医の確保もぜひよろしくをお願いします。(柳原委員)

(6) 教育研修

- ・職員のキャリアアップはモチベーションにもつながります。(北村委員)
- ・「別紙2 関連指標の実績推移」によると、地域医療従事者向け研修開催数の2019年度の数値が大きく下がっています(2017年:73回 2018年:57回 2019年:21回)。コロナ禍の影響が多少あるとしても、2年前の実績から28%の低下となっており、分析課題として注視・記載が適当と考えます。(坂口委員)

(7) 医療安全対策

- ・医療事故防止対策を強化し、インシデント・アクシデント報告件数が大幅に増加したにも関わらず、双方の割合が変わらなかったことから、全職員の医療安全に対する関心が高まった成果と考えられ高く評価できる。(小口委員)

◎全般

- ・法人自己評価と同様、4と評価いたします。地域の関係機関と緊密に連携しながら在宅医療を推進され、また近隣の医師不足病院の診療支援もされた点を高く評価いたします。(中山委員長)

第2-1 経営管理機能の充実 (44~48 ページ)

- (1) 管理運営体制の強化、(2) 業務改善の推進

ご意見等

◎全般

- ・評価:3 この項目は、数値目標が少なく、客観的評価が難しい。しかし、自己評価の結果は全般に厳しい印象が強いことから、自己評価の精度の高さがうかがわれ、大いに好感が持てる。(小口委員)
- ・評価が難しいですが、一つひとつ確実に着実に改善できることからやって行くしかありません。
(北村委員)
- ・法人自己評価と同様、3と評価いたします。迅速な意思決定と機動的な経営判断により、収入の確保と弾力的に予算を執行された点、そして稼働状況の見える化により、全職員で日々の経営改善を推進された点を高く評価します。平成30年9月に受審された日本医療機能評価機構による病院機能評

価の指摘事項に対して、引き続き継続的な改善活動に取り組まれることを期待いたします。

(中山委員長)

第2-2 働きやすくやりがいのある職場環境の整備 (49~51 ページ)

(1) 人事評価制度の再構築、(2) 働きやすい職場環境づくり、(3) 職員満足度の向上

ご意見等

(2) 働きやすい職場環境づくり

- ・安定して職に就いていただける体制は、特に女性にとっては大切です。(柳原委員)

(3) 職員満足度の向上

- ・職員の満足度も個人差があります。多数の職員が満足感を得られるように、やれることから着実に進めていくことだと思います。(北村委員)

◎全般

- ・評価：3 年々診療内容の高度化、拡張、質の向上などが精力的に進められている中で、職員数は減少している。人件費抑制という点では評価できるが、一方で職員の負担増の懸念もある。そのためにも、職員満足調査の実施や人事評価制度等の具現化を推進していただきたい。(小口委員)
- ・法人自己評価と同様、3 と評価いたします。「働き方改革」の動向を踏まえながら、より効果的な業務運営の促進に努力されましたことを評価いたします。人事評価制度並びに職員満足度向上に向けて、具体的な制度策定と運用が早期に実現されますことを期待しております。(中山委員長)
- ・働きやすくやりがいのある職場環境の整備は急務です。自己評価3となっていますので、今後取組を進めてほしいです。また、職員へのメンタルヘルスは特に力を入れてほしいです。(柳原委員)

第3-1 効率的な経営の推進 (52~58 ページ)

(1) 収支バランスの適正化、(2) 診療報酬改定等の制度改正への適切な対応、(3) 適正な人員配置
(4) 診療報酬請求漏れや返戻・査定減の防止、(5) 未収金の管理と回収、(6) 業務の質と量に応じた費用の適正化

ご意見等

(5) 未収金の管理と回収

- ・未収金発生防止の視点で、介入の余地が残されているでしょうか。(MSW の介入により医療費助成制度の紹介など) (坂口委員)

◎全般

- ・法人自己評価と同様、4 と評価いたします。経常収支比率及び医療収支比率の向上を図られた点を高く評価いたします。(中山委員長)

第3-2 経営基盤の確立 (59 ページ)

ご意見等
<ul style="list-style-type: none">・地道な努力の積み上げで目標を大幅に超えているので、評価は「5」でもいいのではないのでしょうか。(当期純利益には、臨時的なもの、偶発的なものは無いように思われる。)(小林委員)・今後の課題ですが、このような項目には評価のための定量基準が必要です。(小林委員)・法人自己評価と同様、4と評価いたします。法人開設以来、4年連続で黒字を確保された点を高く評価いたします。(中山委員長)

第4-1 施設設備等に関する事項 (60~61 ページ)

(1) 病院再整備事業、(2) 施設設備等の維持管理

ご意見等
<ul style="list-style-type: none">・法人自己評価と同様、4と評価いたします。病院再整備委員会を立ち上げ、2020年度からの事業着手に向けて計画を推進された点を評価いたします。(中山委員長)

第8-1 施設及び設備に関する計画 (67 ページ)

ご意見等
<ul style="list-style-type: none">・法人自己評価と同様、4と評価いたします。施設及び設備の財源を全て自己負担とされた点を評価いたします。(中山委員長)